

令和元年度第3回総合教育会議

I 第3期上尾市教育振興基本計画における基本理念について

- 1 教育振興基本計画について
- 2 基本理念（イメージ）

II 不登校・いじめについて

- 1 いじめ等の未然防止、支援及び対応
- 2 教育相談体制の取組
- 3 教育センターの現状と課題



<国> 第3期 教育振興基本計画

計画期間：2018～2022



<県> 第3期 埼玉県教育振興基本計画

計画期間：2019～2023



<市> 第3期 上尾市教育振興基本計画

計画期間：2021～2026

教育振興基本計画について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 **(地方教育行政法)**

市長が「教育に関する大綱」を策定する

教育振興基本計画を定めている場合には、その中の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置付けることができると考えられることから、地方公共団体の長が、**総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、教育振興基本計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はない。**

(現在) 第2期の基本理念

「夢・感動教育 あげお」

○知・徳・体の調和がとれ、夢や目標・志を持って
自己実現を目指す、変化の時代をたくましく生き
抜く自立した人間を育成する教育を実践します。

○人と人とのつながりの輪を広げ、一体となって、
共に生きることの素晴らしさ、尊さを享受し、感
動する心を大切にする教育を実践します。

(参考) 県の「第3期埼玉県教育振興基本計画」

(令和元年7月発行)

<基本理念>

「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」

○社会の変化を正確に予測することが困難なこれからの時代においては、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて、新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力が求められます。

このような力を有し、社会の持続的な発展を支える担い手を育てていく上で、教育の使命は極めて重要です。

(計画期間2019～2023年度)

基本理念（イメージ）

（計画期間2021～2026年度）

▶ 「生き抜く力」を上尾で育む

目まぐるしく変化する社会の中で、生き抜く力の基礎となる「人としての力」を育む。

▶ 輝け あげおの「人財」教育!!

上尾市にとって一番の財産は人材であると考え、多様性あふれる社会で活躍が出来る「人財」を育てる。

▶ 明日を拓き 未来を築く人づくり あげお

予測困難な社会においても知恵を出し合い、共に生き、明るい未来を創造する人材を育てる。

▶ 生き活き教育 あげお

多様化する社会で活気をもって生き抜く力を持つ人材を育てる

▶ キラリ輝く 未来きり拓く 上尾教育

未来の宝の上尾の子供たちを輝かせ、未来を切り拓く人を育成する。

▶ 笑顔輝き 未来に挑む 上尾教育

笑顔が輝き、未来に向かってチャレンジする人を育成する。

▶ アットホームで 元気な上尾 大いなる夢 実現 あげお

アットホームで、元気溢れる上尾で夢を実現させる。

▶ 上尾の未来を創る ひとづくり

上尾の未来を創造するひとづくりを推進する。

▶ 上尾をつなぐ「学びを通じた地域づくり」

家庭・地域・学校が連携、協働して、学びや体験活動を推進しながら地域課題を解決する。

▶ つながるきっかけを提供する上尾

人々・地域の交流が希薄化する中、家庭・地域・学校の様々な場面で人々が知り合い、交流するための機会を提供する施策を展開する。

▶ きらめく人を育てる上尾

一人ひとりを尊重し、一人ひとりの能力を伸ばし、生かす施策を展開する。

▶ 上尾で未来をそうぞうする

将来の自分を思い描き、社会で生き抜く力を作るのは今、上尾で。「創造」と「想像」を掛けている。

▶ 広がれ！未来の仲間たち

人間関係が希薄になりがちな昨今、仲間を増やし豊かな人生を上尾でつくる。

▶ 未来をその手に 上尾教育

現代社会において生涯にわたる学びは人が生きる糧となるものであり、幼児から高齢者まで、分け隔てなく明日への活力として学び続けることが実現できる。

▶ 夢と希望 未来を生き抜く 上尾教育

夢を語り、希望に溢れて逞しく未来を生き抜く子供たちを育てる。

▶ 志高く皆が響き合う上尾の教育

学校・地域・家庭が連携を図り、夢と希望に満ちた未来を拓く子供たちを育てる。

▶ 明日へ元気と思いやりを繋ぐ上尾教育

未来を拓く子供たちを育てるために、一日一日を大切にする。

▶ あすにつなげるあげお教育 あしたにつなげる教育を

学んだ事が明日の自分を強くし、その積み重ねが未来を拓く力になっていく。

▶ 「つながり」と「学び」で拓く 上尾の未来

一層グローバル化が進むことが予想される未来において、多様な可能性をもった子供たちが生き抜くためには、「社会に開かれた教育課程」と「質の高い学び」が必要となる。

▶ 地域と共に未来へつなぐ 上尾の教育

コミュニティ・スクールの導入等、地域と一緒に教育を推進する。

▶ 次代を担う人づくり 上尾の教育

持続可能な上尾の町を担う人材を育成する。

▶ 夢・実現 未来を創る 上尾の教育

現行の教育理念をより発展させ、上尾の教育で夢を実現させる。

▶ 未来を拓き 笑顔あふれる 上尾

予測困難な社会の変化に主体的に関わり、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を育む。

▶ 人財を育てる 上尾の教育 自分の力と可能性を開花

学力・道徳・体力の基礎を身につけ、変化する社会をたくましく生き抜いていく子供たちを育成していく。

▶ 可能性無限大の上尾教育

子ども達の可能性を最大限に伸ばす教育を実施する。



Ⅱ - 1 いじめ等の未然防止、支援及び対応について

- ① 上尾市立中学校ネットパトロール調査（業者委託）
- ② hyper-QU
- ③ CAP研修会
- ④ 「いじめを考える授業（道徳科）」授業研究会
- ⑤ 上尾市「いじめ根絶」小学生サミット
- ⑥ 「夢・感動教育子供すこやかシンポジウム」開催
- ⑦ 上尾地区青少年健全育成地域の集い
- ⑧ 子ども・いじめホットライン・ホットメール
- ⑨ 学校の生活アンケート（児童生徒）及び
子どものサイン発見アンケート（保護者）
- ⑩ 上尾市いじめ問題対策連絡協議会



- ・ 各校いじめ対策チーム等を組織し、複数対応
- ・ 家庭・地域・関係団体と連携

Ⅱ - 2 教育相談体制の取組

① 子供に関する多様な相談体制

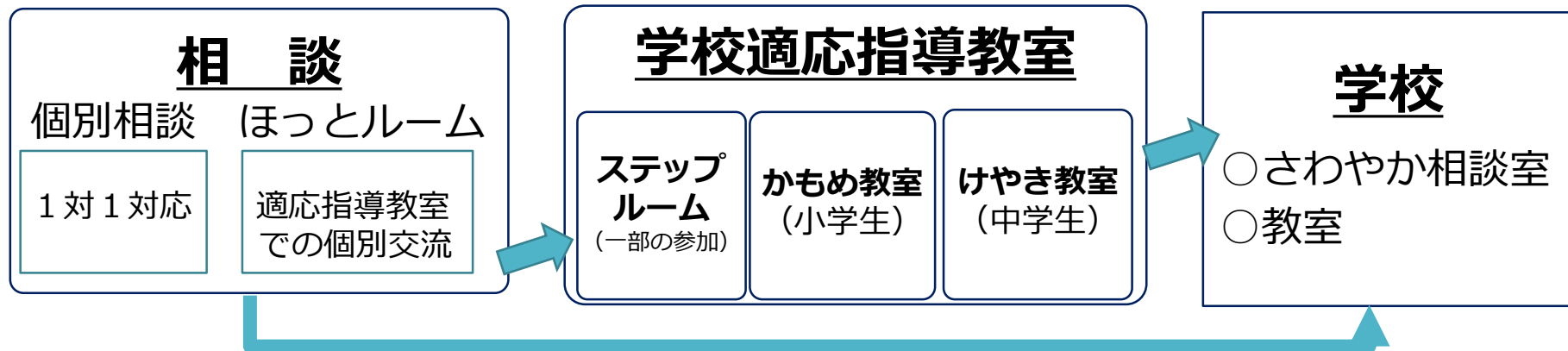
電話相談

来所相談
(通所相談)

訪問相談

電子メール
相談

② 学校復帰を目指した**スモールステップ**による支援



③ **アウトリーチ型支援の充実**

- 相談員・指導員による家庭訪問
- スクールソーシャルワーカーの派遣
- 情報共有等を行う学校でのケース会議

Ⅱ - 3 教育センターの現状と課題

- ① 教育相談状況（H27～令和元年11月末現在）
について **（参考資料1）**
- ② 不登校児童生徒に関する教育相談状況と
SSWの相談状況について **（参考資料2）**

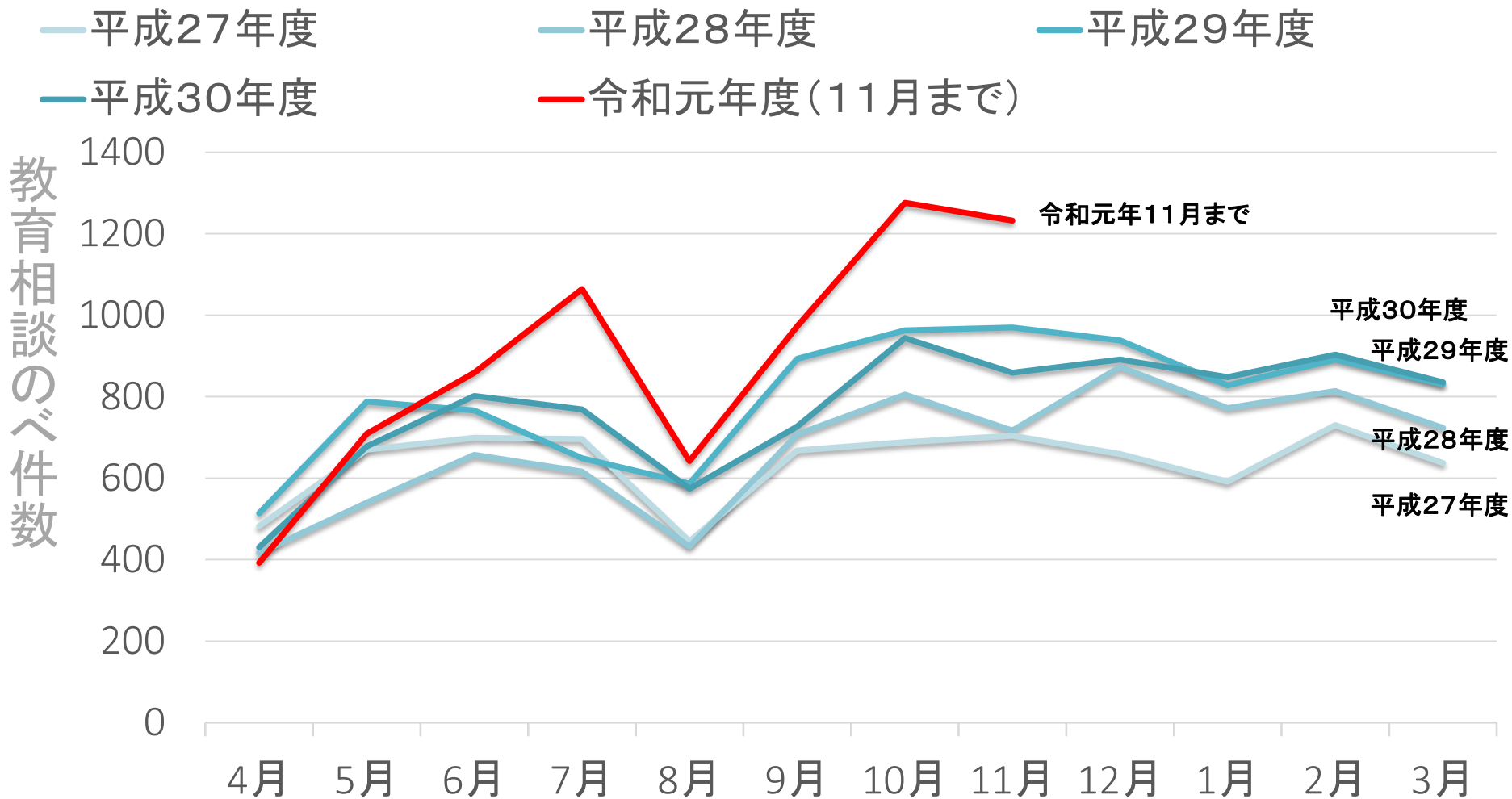
- ・ **不登校の教育相談件数の増加**
- ・ **不登校解消に向け、SSWの相談件数の増加**

教育相談状況（平成27年度～令和元年11月） について

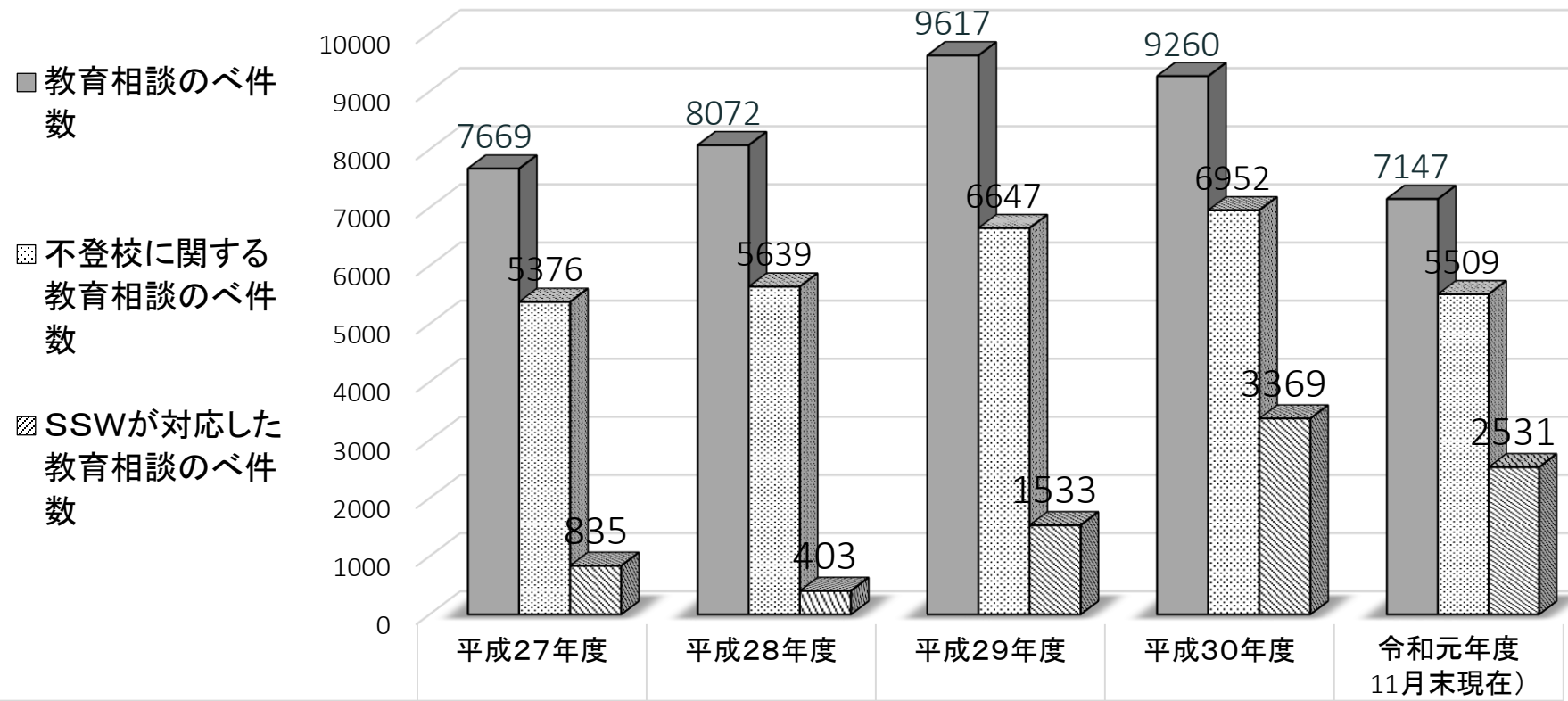
資料1

教育センター

教育相談のべ件数



不登校児童生徒に関する教育相談状況と SSWの相談状況について



■ 教育相談のべ件数	7669	8072	9617	9260	7147
▨ 不登校に関する教育相談のべ件数	5376	5639	6647	6952	5509
▩ SSWが対応した教育相談のべ件数	835	403	1533	3369	2531

(参考 不登校児童生徒数の推移(のべ人数))

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年 (11月末現在)
児童生徒数	135人	161人	223人	240人	203人